

日29-2-2-1

日本海地震・津波プロジェクト

沖合構造調査

国立研究開発法人

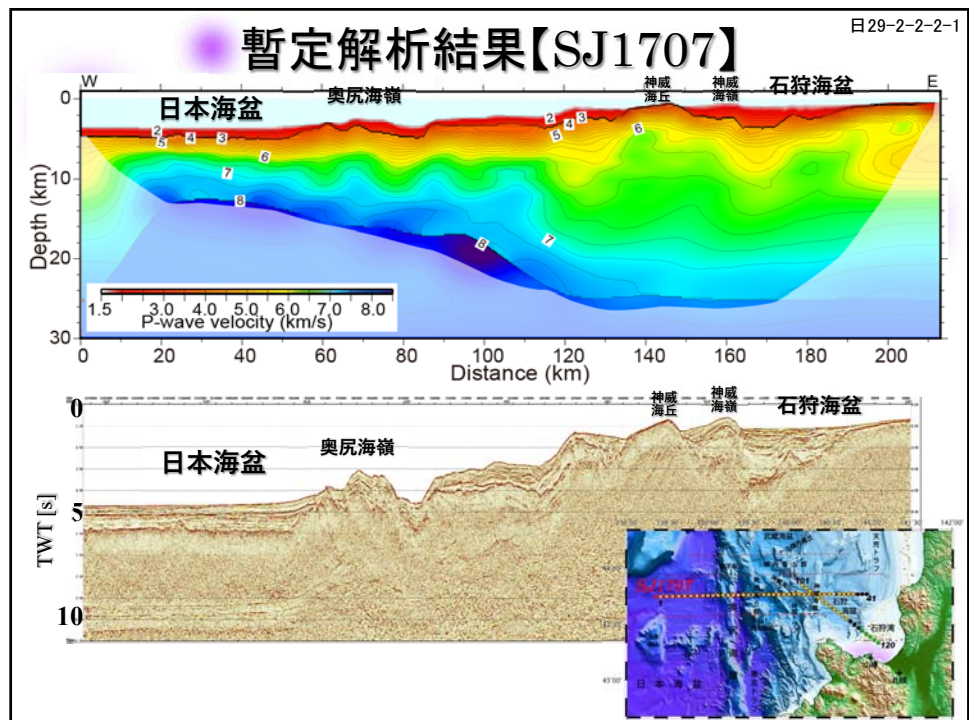
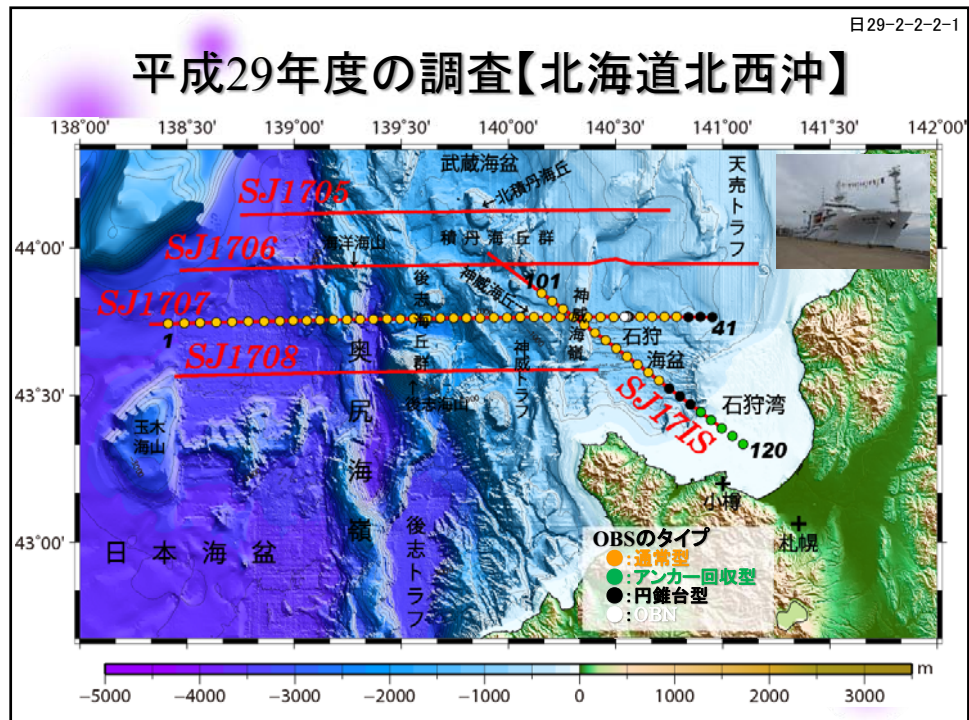
海洋研究開発機構

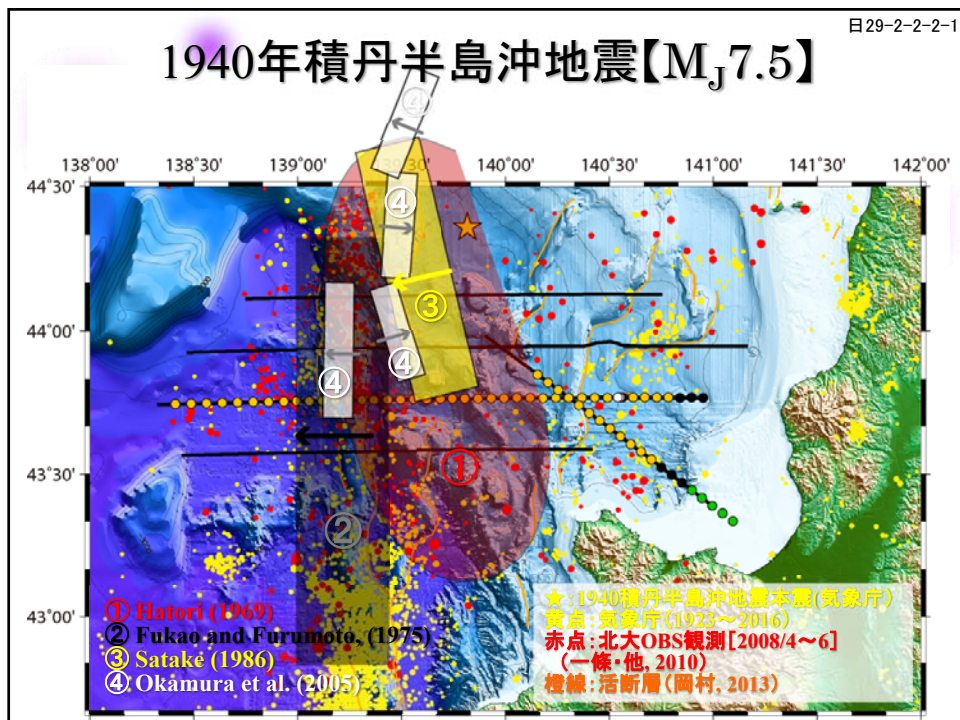
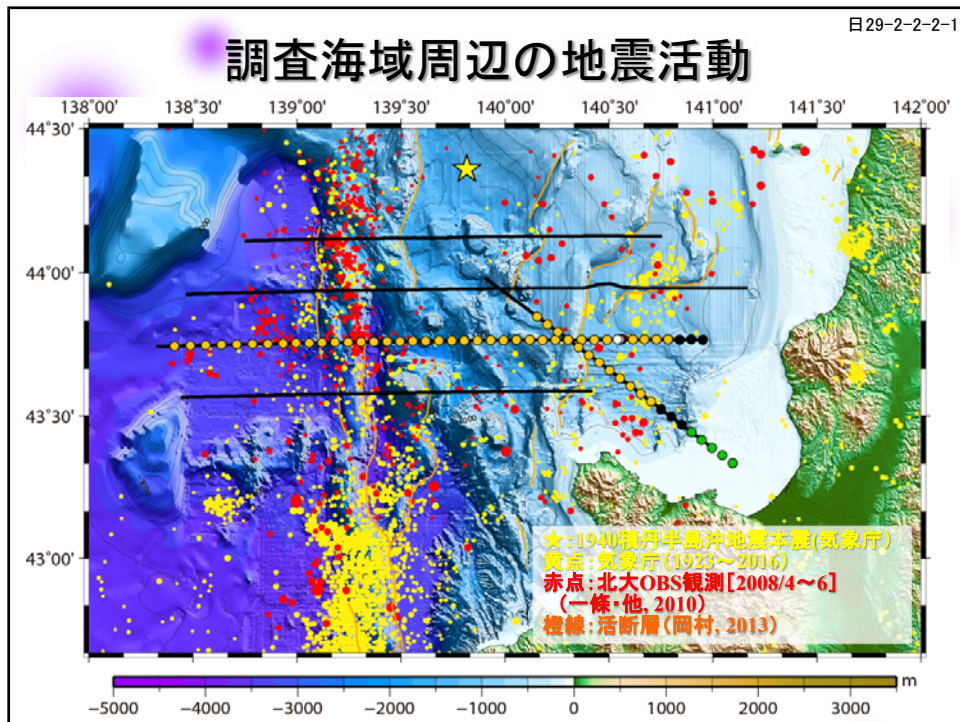


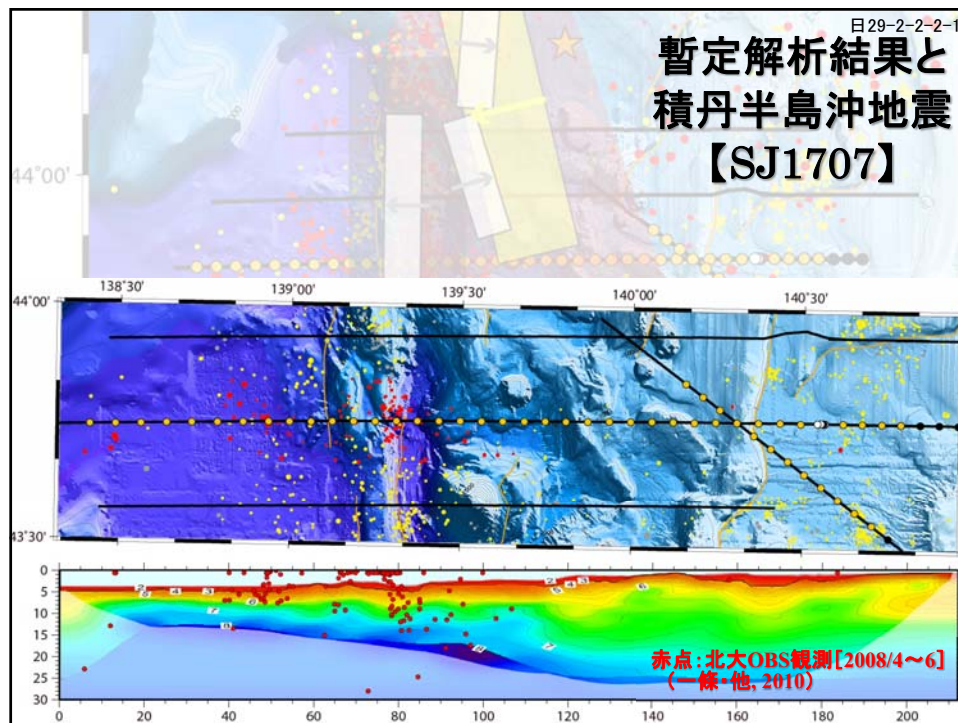
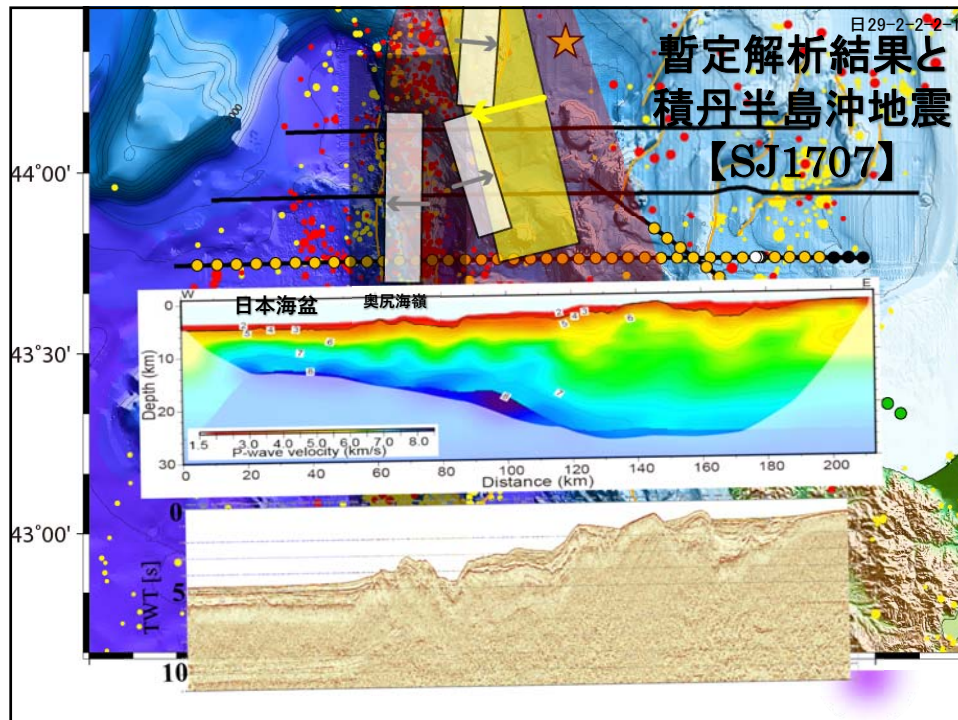
日29-2-2-1

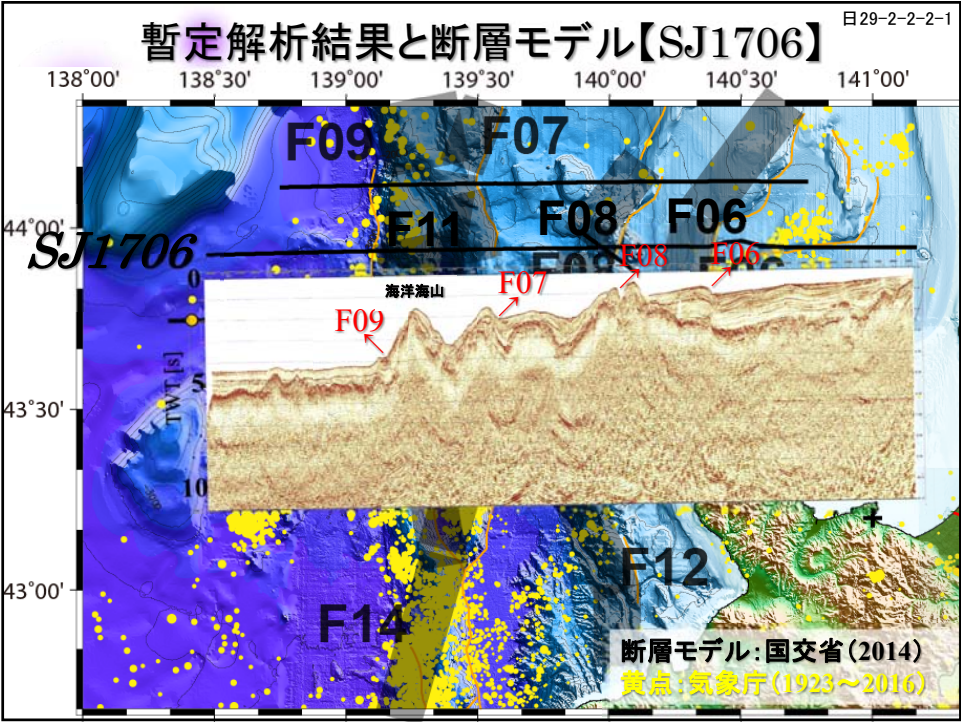
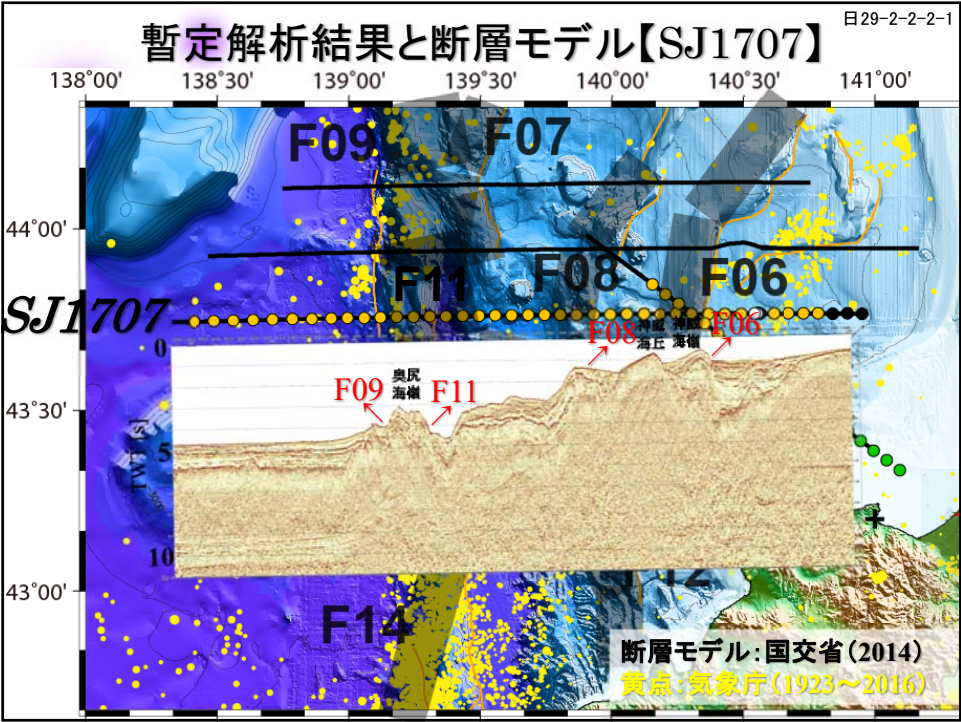
沖合構造調査(線表)

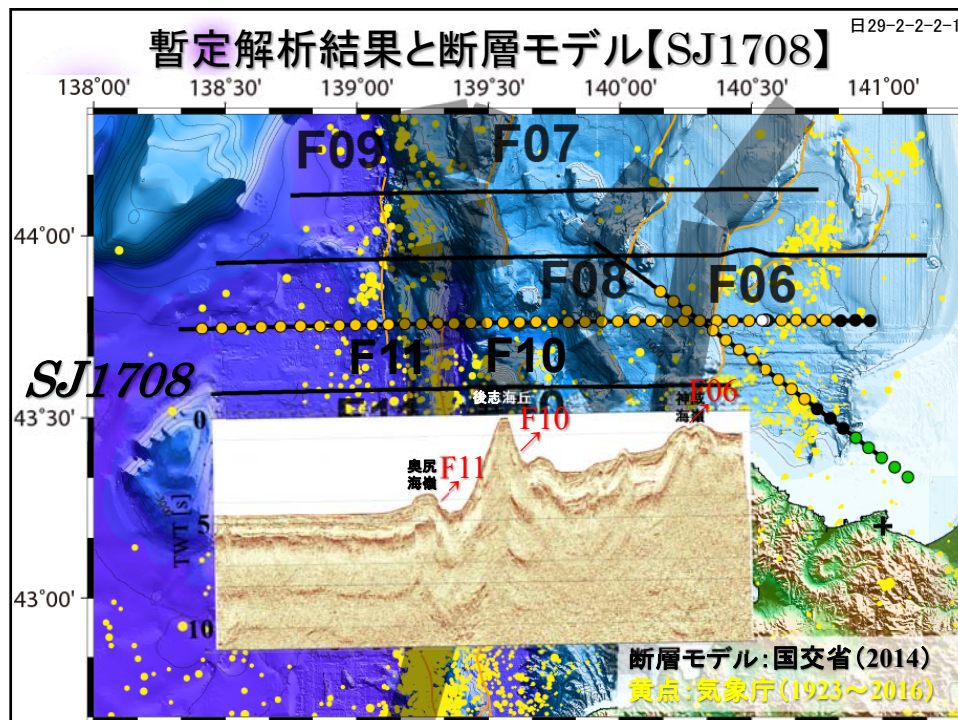
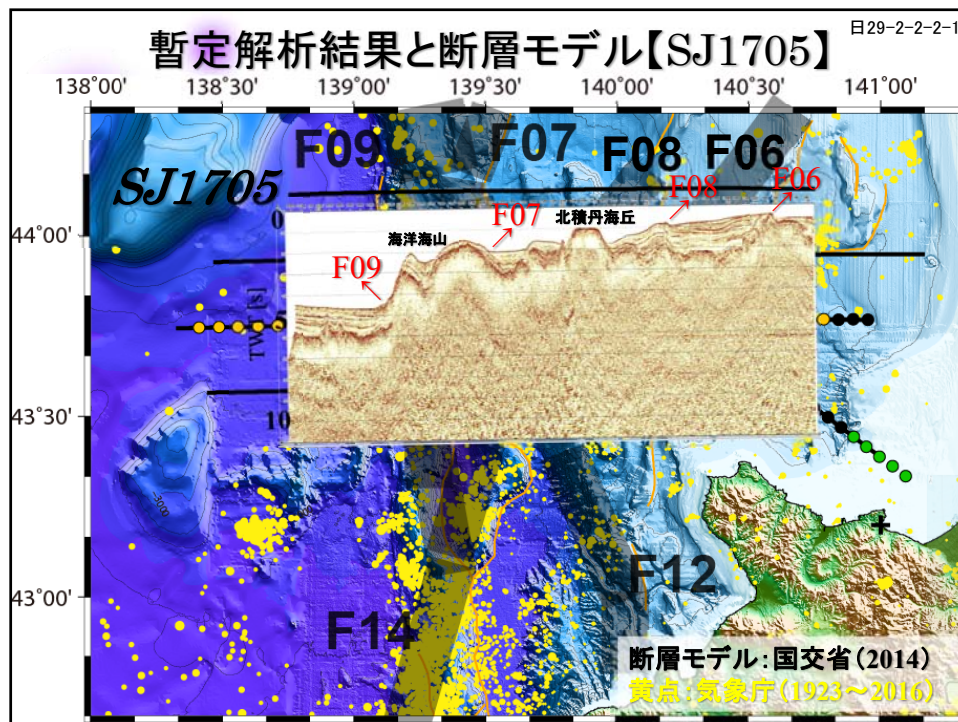


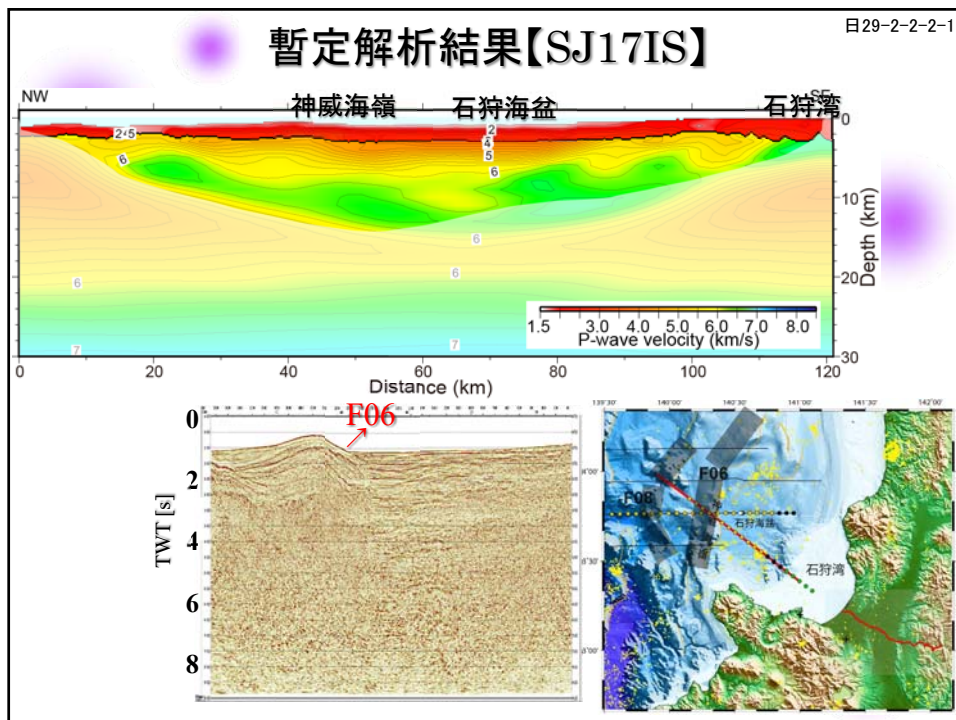
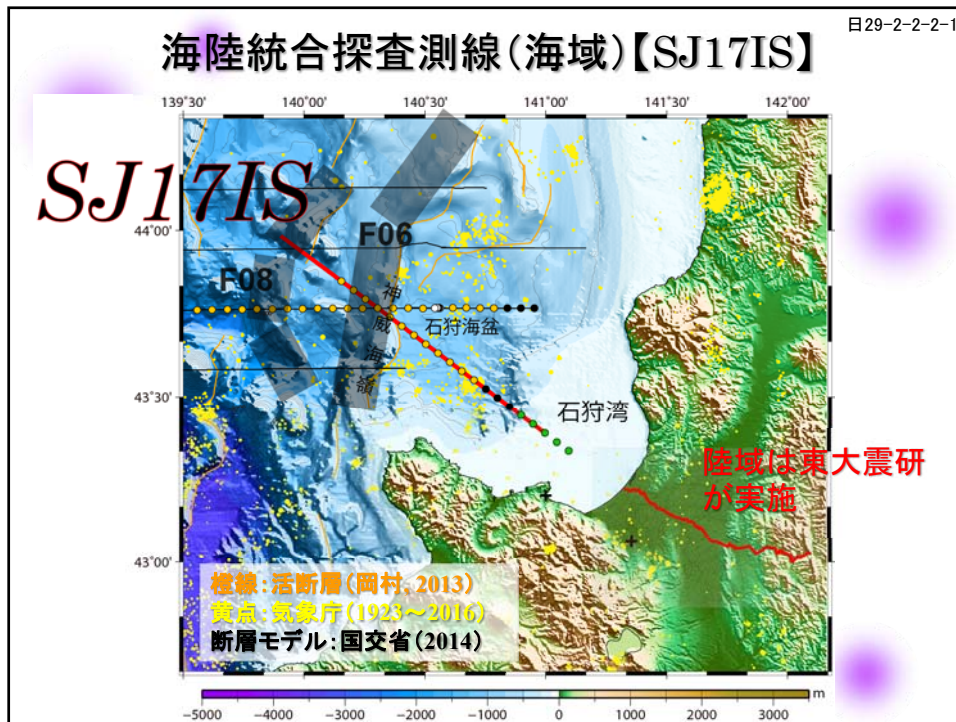












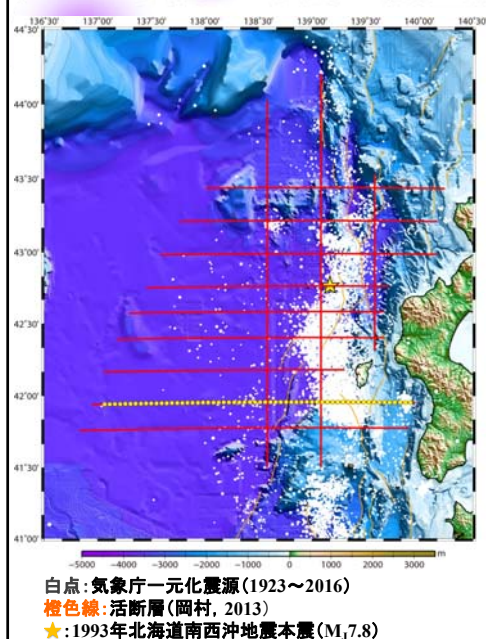
日29-2-2-2-1

まとめ

- MCS探査の暫定的な結果から、推定されている活断層や地震活動に対応しているイメージが得られている。
- SJ17007のOBS探査の暫定的な結果から、日本海盆は海洋地殻的な構造となっているが、奥尻海嶺付近から地殻が徐々に厚くなっていき、測線の中央付近から東側では大陸地殻的な構造に近い構造となる。
- 海陸統合探査測線であるSJ17ISは、屈折法探査に関してOBSのみでの解析が進行しており、今後陸上の探査データを統合した解析を行う。MCS探査については、曳航したストリーマーケーブル長が短い(300m)ため、速度解析やノイズ抑制処理等を難しいが、イメージングの最適化を進めた。
- 現時点で、解析がまだ不十分なので、引き続きイメージングの改良を進め、北海道北西沖の地殻構造の特徴を抽出し、断層の分布と形状との関係を明らかにしていく。

日29-2-2-2-1

平成30年度の調査計画【北海道南西沖】



- ・ 調査予定日程:
2018年4月23日(函館)
～5月20日(横須賀)
- ・ 調査予定測線:
✓ MCS探査(赤線)
✓ OBS探査(丸印)
- ・ 使用船舶:「かいいい」

